

放課後児童クラブで出張森林教室



コースター作りの様子

小清水町では、保護者の方がお仕事などのため家庭にいられない小学生向けに「放課後児童クラブ」を開設しています。もりのめはその場所をお借りし、8月2日（金）と26日（月）の2日間で、出張森林教室を開催しました。

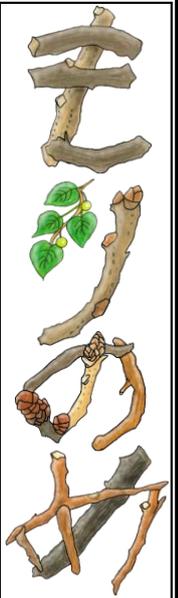
1日目は「森林クイズと木のコースター作り」です。あらかじめ磨いてある輪切りの木にマジックで色を塗ったり絵を描いたりして木と触れ合いました。工作前の森林クイズでは、配布した木の年齢を考えてもらいましたが、みんな一生懸命に年輪を数えてくれて、木に興味を示してくれたことが嬉しかったです。

2日目は「種の話と種飛ばし」です。動物と違って自力で移動できない植物は、どのようにして分布を広げるのか、植物の種についてお話をしました。学校の周りにも植えられているイタヤカエデの種を実際に飛ばす体験で、子供たちは興味深々で立ち上がって集まり、種がクルクル回りながら落ちるのを見て「回った！」と驚く声が聞こえました。

それから、風によって運ばれる種の一つ、ラワン種の模型を作って飛ばして、点数を付けた箱に種を落とすゲームを行い、みんな列を作つて何回も挑戦してくれました。これからは、道端に落ちている種も遊び道具になるかもしれません。



種飛ばしの様子



新聞



もりのめ

第2号

2024/10/18 発行

網走南部
森林管理署



美幌中学校で講演 「森林との出会い」

9月24日（月）、美幌町立美幌中学校の2年生の総合的な学習の時間で「美幌の自然・森づくり」をテーマにした授業が行われました。

この授業は毎年オホーツク総合振興局の方々を中心となつて担当されており、今年のもりのめを講師としてお招きいただきました。

講師として参加した会田は、「森との出会い」を題材とし、自身の経験を踏まえた森に対しての考え、その多様性と魅力について話しました。「今後の森づくり授業とさらにその先において、生徒さんそれぞれの目線で、森林を面白いと思えることを見出してもえたら嬉しい」と語りました。

後半はリーダーの竹本が、もりのめの活動や網走南部森林管理署の仕事、美幌町の木と森について等、木育や森林管理の意義を話しました。生徒の皆さんは静かにメモを取るなどして聞いてくれていましたが、少しでも森の存在を意識してもらえていたら嬉しいです。



第2話 種飛ばし

4コママンガ

きいになごしちやまめくん

